



赤こんりポート

馬場利男リポーター



元気に遊ぼう こどもの日

北里学区小田町まちづくりボランティア「夢の会」と小田町自治会が連携し5月8日、こどもの日のイベントが開催されました。三密にならないよう注意しながら行われ、色鮮やかな鯉のぼりが空を泳ぎました。鯉のぼりを見てほほ笑む赤ちゃんから小学生までの子どもたち。ボランティアのスタッフと一緒にストラックアウト・チャレンジゴール・ソフトダーツなどのゲームで蹴ったり・投げたり・走ったりして午後の2時間を楽しく過ごしました。

赤こんりポート

今井良治リポーター



豊作願って松明を振りかざす「いもち送り」

島町と北津田町で6月12日の夕刻、たいまつで田んぼの害虫を追い払う恒例行事「いもち送り」が行われました。かつては多くの農村で見られた行事でした。農業の普及などで昭和30年代以降ほとんどみられなくなり、いったん途絶えましたが、昭和55年に地域の伝統行事の復興をと再開されたものです。この日、北津田町の大嶋奥津嶋神社に両町の農家の人たちなど23人が集合し、本殿で神事を済ませた後、4つ割の竹の中にワラ、菜種殻をくりつけた長さ3～4メートルもあるたいまつ12本に点火。田んぼ沿いの道を、「イモチ送れー、イモチ送れー」の掛け声とともにたいまつ火の粉をふり落としながら約3キロにわたって歩き、今年の豊作を祈りました。

赤こんりポート

東恵子リポーター



「よかつと たいむ」で盛り上がる

障がいのある人が軽スポーツやレクリエーションを楽しむ市余暇支援事業「よかつと たいむ」が6月13日、健康ふれあい公園屋根付き多目的広場で開かれました。今回は「フットサルをやってみよう」でした。障がい福祉課の職員2人もコーチ役で参加し、ゆっくり、わかりやすく指導。黄色と赤色のチームに分かれ、1対1でボールを蹴り合い、ドリブルやシュートの練習をし、最後には試合で盛り上がりました。おうみ作業所に通う道尾大輝さん(25)は、父親と参加し、2人で気持ちの良い汗を流していました。

赤こんりポート

松村美沙枝リポーター



地域とママをつなぐパスポート創刊

市の子育て支援登録団体「hachimom」と竜王町の任意団体「子育て応援 hug 組」が、乳幼児を育てる母親を対象としたフリーペーパー「ママパスポート近江八幡・竜王版」を創刊しました。年に4回発行し、同市・町の子育て関連施設や図書館など約40か所で配布予定。赤ちゃんや母親にお知らせしたい子育てのイベント情報やおでかけスポットなどをカラフルで親しみやすいデザインで紹介しています。また、健診や子育てイベントの日程をチェックしながら、自分の予定を書き込んで手帳代わりに使えるカレンダー機能もあります。私も制作に携わっており、ママが地域とつながるきっかけになることを願っています。

5月12日

安土町大中の通学路にパトライト設置
安全強化で交通事故ゼロへ

近江八幡地区交通安全協会が、安土大中グラウンド前の県道の横断歩道にパトライトを設置し、点灯式が行われました。この道路は小・中学生の通学路となっており、毎朝約20人の児童・生徒が利用し、通勤時間帯には自動車の往来が増えます。そのため、地元の大中自治会から交通安全対策の要望があり、同協会が近江八幡警察署と協力し、パトライトの設置が実現しました。同協会の上阪廣子会長は「パトライトが設置されたからといって、絶対に安全とは限らない。歩行者もドライバーも一人ひとりが交通事故を起こさない意識を持ち、交通ルールを守ってほしい」と話しました。

今年度の赤こんりポーターが決定！



市民が地域の魅力やイベントの取材情報などを、市広報紙やSNSなどで発信する「赤こんりポーター」の今年度のメンバーが決まりました。

【写真左から】

今井 良治さん(加茂町)
東 恵子さん(中小森町)
松村 美沙枝さん(船木町)
馬場 利男さん(鷹飼町)



Facebook
ページは
こちら

これから市内のさまざまなできごとを、市民目線でお伝えしていきます。乞うご期待！

5月22日

若葉町おやじサークルが18年の地域活動に
終止符 町内の公園にかまどベンチ寄贈

若葉町の退職後の男性で構成する「おやじサークル」が、メンバーの高齢化や会員の減少に加え新型コロナウイルス感染症の影響で活動が難しくなったため今年3月で解散。アルミ缶回収など今までの活動で得た収益を若葉町自治会に還元しようと、町内の公園に「かまどベンチ」3基を設置し同町自治会に寄贈しました。今回設置されたベンチは、災害時に座面をはずすとかまどになり炊き出しに利用できるもの。代表の杉山^{しげる}さんは活動を振り返り、「解散はさみしいが、精一杯のことをやってきたので悔いはない」とすがすがしい表情で話していました。

5月18日



市民の健康づくりに企業2社と連携

大塚製薬株式会社と明治安田生命保険相互会社の2社と、スポーツ振興や地域の健康づくりに関する連携協定を締結しました。市と企業が相互に連携・協力して、双方の持つ知識や技術、情報、物資などの資源を有効活用することで、市民サービスの向上と市民の健康的な生活を実現することを目的とします。今後、大塚製薬とは運動指導者を対象にした熱中症予防の講座や高齢者への啓発活動などで、明治安田生命とは主催セミナーへの講師派遣や健康測定会の開催などで連携・協力します。